



**第345号**  
 2005年(平成17年)  
 12月10日

発行 明治大学  
 編集 明治大学広報部  
 TEL 03 (3296) 4083  
 E-mail: koho@mics.meiji.ac.jp  
 東京都千代田区神田駿河台1-1 (〒101-8301)  
<http://www.meiji.ac.jp/>

# 競走部 40年ぶりのシード権獲得へ

## 紫紺の襷が東海道を駆ける!!

### 第82回箱根駅伝出場校

シード校 (前回上位10校)	
駒大	40年連続40回目
日体大	58年連続58回目
日大	9年連続77回目
中大	77年連続80回目
順大	49年連続49回目
東海大	34年連続34回目
亜大	5年連続29回目
法大	8年連続70回目
中央学大	4年連続7回目
神奈川大	15年連続38回目
予選会突破9校	
東洋大	4年連続64回目
早大	30年連続75回目
国学大	3年ぶり3回目
山梨学大	20年ぶり20回目
大東大	39年連続39回目
城西大	3年連続3回目
国士大	2年ぶり39回目
明大	2年連続49回目
専大	2年連続62回目
関東学連選抜(オープン参加)	



6区・青田(左)から7区木村(右)へ  
 (第81回箱根駅伝・小田原中継所)

第82回東京箱根間往復大学駅伝競走(東京・大手町〜箱根・芦ノ湖往復の10区間217.9km、出場19校・オープン参加1チーム)が1月2、3日に行われる。14年ぶりに出場した前回大会(総合18位)に続き、2年連続の出場となる明大。40年ぶりのシード権獲得(総合10位以内)を目指し、紫紺の襷を繋ぐ10人のランナーを応援しよう!!

**幸田高明・主将(政経4)** 応援  
 して下さるみなさんへの感謝の気持ちで紫紺の襷に込めて、チーム一丸となって楽しみながら箱根路を走りたいと思います。個人的には最後の箱根になるので、今までお世話になった方々へ恩返しができる走りをしてほしいと思います。シード権を目指して積極的なレースをしますので、ご声援よろしくお願いします。

### 各区間の見どころ

- 1区・大手町〜鶴見(21・4km)** 駅伝の流れをつかむ重要な区間。各校ともスピードランナーを配し、後半はスプリント勝負に。
- 2区・鶴見〜戸塚(23・2km)** 各校のエースが集う「花の2区」と呼ばれる区間。エース同士がしのぎを削る序盤のハイライト。
- 3区・戸塚〜平塚(21・5km)** 2区までの流れを維持・修正する重要な区間。後半は海沿いのコースで風の影響を受けやすい。
- 4区・平塚〜小田原(18・5km)** 全10区間で唯一20kmを切る最短期間。優勝を争うチームはエース級の選手を配置することも。
- 5区・小田原〜芦ノ湖(23・4km)** 標高834mを駆け上がる「山のぼり」。コース変更で最長区間となった箱根駅伝最大の見どころ。
- 6区・芦ノ湖〜小田原(20・8km)** 5区の「山のぼり」に対して「山くだり」と呼ばれる。下りきってから3kmで脚が止まる選手も。
- 7区・小田原〜平塚(21・3km)** 気温差が激しく、ペース配分が難しいコース。上位を狙うチームは力のある選手を起用する。
- 8区・平塚〜戸塚(21・5km)** 優勝&シード権争いが熱を帯びてくる区間。トップと下位の差も開き、「練り上げスタート」も。
- 9区・戸塚〜鶴見(23・2km)** 23kmを越える長丁場で準エース級の選手が配される「裏・エース区間」。多くのドラマ生まれる。
- 10区・鶴見〜大手町(23・1km)** 優勝、シード落ちと明暗が分かれる最終区間。毎年、シード権争いは最後の最後までもつれる。

### 点

箱根駅伝の2年連続出場が決まり、学生、OB、教職員の顔は喜びにあふれている。今年こそ「上位入賞を」の思いが澎湃(ほうはい)たる気運となって明大を衝き動かしている▼ただ一方で、ラゲビー部の不振に鬱々として気が晴れぬ明大人も多い。年末年始のラゲビー部の活躍はそれこそ明大の風物詩であり、日本津々浦々まで「バシテイ明治」は轟きわたったものである。11月19日の対抗戦、何と明大は帝京大に「史上最悪50失点」と見るも無惨な敗北を喫してしまった。「強力FWの看板を下ろさなければならないような」等と批評された。明大人にとって泣くに泣けない結果だった。「負けじ魂の強い」ラゲビー部員にとってはおさらのことであろう。その心中を思いやれば、切ないものがある。ラゲビーの神様・北島忠治監督が逝去されて9年、「前へ」の精神が忘れられたのではないかと等とよからぬ勘ぐりも出てこよう。選手諸君は「雑音には耳を貸さず、力とスピードの養成」に努めてもらいたい。新しい年は眼前にあり、大学選手権での奮起を信じたい▼かつて、北島監督は星野仙一氏と対談して、「君達、評論家としてああこうだというだろう。同じことをスタンドで何だかんだうるさくいうんだよー中略ーあまりいうとしまいには聞き苦しくなるぞ」と語っておられる。応援にもマナーを忘れず、自戒としたい。また、新人に何をのぞむかと聞かれ「そりゃ、走れるか、押せるか、闘争心があるかだな」と明断だ。紫紺のベガサスは必ずや甦(よみがえ)ろう。



# 第10回明治大学学長杯 留学生日本語スピーチコンテスト

## 学長賞は 宣 美演さん (理工1、韓国)

第10回明治大学学長杯留学生日本語スピーチコンテスト(国際交流センター主催、連合父母会後援)が11月12日(土)、駿河台校舎リハビリホールで開催され、宣美演さん(ソン・ミヨン||理工1、韓国)が学長賞を受賞した。今回のスピーチコンテストは15名の留学生(学部生12名、大学院生3名)が出場。各々が2、3名の日本語アドバイザー(58名の学生コーディネーター)とチームを組み5カ月前から原稿の準備を開始、直前までスピーチ練習を重ね、当日は見事なスピーチを披露した。また、学生コーディネーターが実行委員会を組織し、広報活動、プログラム作成、司会、会場設営等を兼務してコンテストの開催を支えた。

### 受賞のよろこび

学長賞・宣美演さん



「本当に感謝しました」と受賞式の後、1人の女性がわざわざ声を掛けてくれました。学長賞に自分の名前が呼ばれたときより嬉しかったという、少し大ききなりですが、そのときの嬉しさは今でも忘れられません。「賞がもらえるスピーチより人に伝わるスピーチがしたい」。賞には興味はなかったと言えは嘘になりますが、大会に参加することを決めるときからずっとそう思っていました。ですから、あの女性の言葉は私の誇りです。不器用な私をいつも応援し続けてくれた3人の友達をはじめ、力になってくれたたくさんの人にもこの紙面を借りて感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとう、みんな。

「まだまだ力不足でしたが、コーディネーターのみさんの素晴らしい力で自分ひとりではできなかった結果を出せて、私にとって人生の中で永遠に忘れられない貴重な経験でした。」

連合父母会長賞・余興さん



逃げたのが、僕のアドバイザーの原田さんと荻野さんに出会うことができて、本当によかったです。彼らにとって、今回のスピーチコンテストが大きな出来事ではなかったかもしれませんが、僕にとっては、一生忘れられないことです。そして、きっと僕の人生の中の貴重な財産になると 생각합니다。スピーチコンテストに参加してよかったです。原田さん、荻野さん、ありがとう!!

多文化賞・柳娜さん



第10回留学生スピーチコンテストに参加できて本当に良かったです。振り返ると本当にあっという間で、コーディネーター3人のおかげで多文化賞をもらうことができました。今回のスピーチコンテストをきっかけとして、サポートしてくれた3人と仲良く



国際交流センター所長賞・呂澤毅さん  
今回の留学生スピーチコンテストに出場して、国際交流センター

所長賞受賞という結果になり、とても嬉しく思います。自分は本当

サポーターとして、サポートしてくれた3人と仲良く

審査員特別賞・王子驍さん



まずはこのスピーチはすごく有意義だと思います!日本人のアドバイザーと一緒に原稿を作ったり、お喋りしたりする時、楽しいと同時に、自分の日本語がだんだんステップアップしている実感できました。そして15人の発表者全て、見事なスピーチをしたので、この中で誰が優勝してもおかしくないくらい素晴らしいかったです!私には思いません!観衆のリアクションも熱かったので、僕にとっては、人生の良いエピソードとして忘れることはないでしょう!

学長杯を受け取る宣美演さん



### 第10回留学生日本語スピーチコンテスト出場者・テーマ (出場順)

劉 舒欣(リュウ・ジョキン|| 商学部1年、中国)

「隣のおばあさん」

柳 娜(リュウ・ナ|| 情報コミュニケーション学部1年、中国)

「メディアを通しての願い」 ◆多文化賞

王子驍(オウ・ジギョウ|| 商学部1年、中国)

「ミニ・ジャッキーへの道」

黄 菲菲(ゴウ・フェイフェイ|| 理工学部1年、中国)

「『人生の成功』への発想」 ◆審査員特別賞

石 珺(セキ・クン|| 商学部1年、中国)

「日本へ来てビックリした事」

李 始炯(リー・シヒョン|| 経営学部1年、韓国)

「文化摩擦」

任 紅欣(ニン・コウキン|| 政治経済学研究所 前期課程1年、中国)

「小さな出来事から真理を感じる」

李 晨曦(リ・シンギ|| 商学部1年、中国)

「美人の定義」

倪 穎嘉(ニ・インジャ|| 文学部1年、中国)

「幸福とは何か」

金 起徳(キム・キトク|| 商学部1年、韓国)

「人間は知れば知るほど感動する」

具 珠花(グ・シユカ|| 法学研究科博士 前期課程1年、中国)

「二トの増加の発想」

余 興(シュ・キョウ|| 政治経済学部3年、中国)

「僕の東京ラブストーリー」 ◆連合父母会長賞

宣 美演(ソン・ミヨン|| 理工学部1年、韓国)

「かくれんぼ」 ◆学長賞

呂 澤毅(ロ・タクギ|| 法学部1年、中国)

「案ずるより産むが易し」

鞠 維燕(キク・イエン|| 政治経済学研究所 博士前期課程1年、中国)

「勘定は別々に!」テート代費用負担の原則」

◆国際交流センター所長賞



学長賞

# かくれんぼ

## 理工学部1年 宣 美演

(ソ・ン・ミョン、韓国)

みなさんは言葉による壁を感じたことはありませんか。あまりにも大きいその壁の前に進むのを諦めたことはありませんか。

今年の4月、私はここ明治大学に入り念願の大学生になりました。長かった受験生活も終わり、夢が形となった瞬間、どんなに嬉しかったかは言うまでもありません。大学生生活はとっても楽しいものです。学科やサークルでの新しい経験は日々感じるほど私を成長させました。友達もたくさんでき、毎日が充実しているように思えました。しかし、楽しいことばかりではありませんでした。ほとんどの授業は日本人の学生を対象にしています。

ノートをとるだけでも精一杯でした。先生の説明に耳をかたむける余裕など全くありませんでした。レポートは人の倍以上の時間と努力が必要でした。もっと完璧にやりたい。だけど、うまくいかない。

そんな現実を悩む私に日本人の友達はこのことを言ってくれました。「一つや二つ失敗しても大丈夫だと思うよ。だって、外国人なのに日本人と同じようにやりなさいっていうのは不公平でしょ。」彼女のその言葉は、大きな励みとなりました。たとえ、うまくいかなかったとしても「私は外国人だから」と思うことで気が楽になったからです。そして、いつの間にか私はその言葉に甘えてしまい、自信をなくした自分の逃げ場とするようになっていました。

そんなある日、以前お世話になった先生に会いました。先生は心配そうに言いました。「あなたもずいぶん変わってしまったのね。以前のあなたはもっと勇気のある人だったわ。」それを聞いた瞬間、どこかに身を隠したいほどの恥ずかしさを感じました。先生が何を言いたいのか、誰よりもよく分かっていたからです。

日本に来たばかりの頃、私はいろんな場面で「外国人」という言葉と戦わなければなりませんでした。アルバイトを探すのにも、部屋を借りるのにも、ただ外国人だという理由で断られることが多かったからです。しかし、私はそんな現実には負けることは決してありませんでした。だからこそ、人よりも頑張りました。頑張れば認めてもらえる。外国人だとか日本人だとかは関係ない。そう思っていたのです。



私には外国人です。生まれ育った

所や言葉はもちろん、文化や習慣もみなさんとは違います。この違いは私を苦しめたり、悩ませたりもします。しかし、こんな現実だったからこそ諦めることもなく頑張り続けられたのではないのでしょうか。

子供の頃「まだ子供なんだから」と言われ、悔しい思いをした経験はみなさんにもあると思います。それなのに、都合によってその言葉の後ろにかくれてしまったことありませんか。子供だとか、男だとか、女だとか、世の中には私たちの可能性を限らせてしまういろんな言葉の壁があります。しかし、本当の壁はその言葉ではなくそれとまっすぐに向き合えない、勇気のない自分ではないでしょうか。弱い心ではないでしょうか。

私の夢は日本で一級建築士として活躍することです。もしかしたら、今よりもっと大きな壁が私を待ち受けているのかも知れません。だけど、夢が叶うまでもう一度頑張ろうと思います。そして今、大きかった心の壁の向こうへ旅立ちます。

小畑精和・審査委員長(国際交流センター副所長、政治経済学部教授)

今回の参加者は粒揃いで、皆本当に上手で甲乙つけがたく、審査員泣かせでした。各出場者ともしっかりと自分の考えをまとめられていたと思います。優劣を決めたのは、自己満足に陥らずに、いかに相手に響くように伝えられたかという一点に絞られていたような気がします。写真や音楽を用いた演出も見られましたが、考えてみればコミュニケーションの基本がやはり大切なのです。それは「この触れ合い」でしょう。

荻野裕一・実行委員長(学生コーディネーター、商学部4年)

今回のスピーチコンテスト出場者は、1年生が多かったのですが、みなさんとても上手で、驚き、感動しました。また、学生アドバイザーも各々の仕事をしっかりこなして、大成功だったと思います。これから、ますます増えていく留学生と、日本人学生との交流の場の一つとして、スピーチコンテストがより一層、大学に浸透して欲しいと思います。

### 2005年度学年暦

- 後期期間 9月20日(火)～3月31日(金)
- 補講期間※  
(駿河台・和泉校舎)  
12月10日(土)～12月24日(土)  
の3週土曜日の通常時限を利用  
(生田校舎) 1月21日(土)・23日(月)
- 定期試験  
(駿河台・和泉校舎)  
1月23日(月)～2月4日(土)  
(生田校舎)  
1月24日(火)～2月4日(土)
- 授業終了 2月4日(土)
- 卒業式 3月26日(日)

※補講日については、学部により上記以外の場合もある。

スピーチコンテストを支えた学生コーディネーターのみなさん(日本語アドバイザー、開催準備、運営など)

- ▼法学部(4年) 金澤新、河原拓郎、田畑隆次、原田さとみ、吉田沙織、吉永愛子、吉原由利子(3年) 石川亮太、清野夏呼、谷村朋香(1年) 大塚泰子、笠原祥乃、斉藤由希
- ▼商学部(4年) 荻野裕一、寺田裕一、平野博文(3年) 杉田広樹(2年) 横山恵美子(1年) 飯田哲也、高島優太
- ▼政治経済学部(4年) 大田仁美、安田佐紀(3年) 松尾英幸、和田智(2年) 重本浩太、成田笑子、半田和隆、前原佑香(1年) 内田洋平、豊川太一、永沼拓海、林愛香、松久美和
- ▼文学部(4年) 青木玲子、宮本雄介(3年) 鳥海舞、萩野谷晶子、福岡綾、宮内絵理子、山崎朋子、渡邊智子(2年) 市毛香織、工藤史織、中本花絵(1年) 志村実心、山口紗矢香
- ▼農学部(2年) 小西佐和子、野本佳奈(1年) 工藤加奈枝、佐藤佳奈美
- ▼経営学部(4年) 李亨奈(3年) 伊藤宜子、藤本あずさ(1年) 坪内秀憲
- ▼情報コミュニケーション学部(2年) 籠谷千裕、田中有紀、堤香織、本間絵里子

以上58名

# 相談室の窓から

施 利 平

(相談員・情報コミュニケーション学部助教授)

留学ということは、多くの場合ある種の憧れやロマン、そして成長というイメージを人びとに与える。かつて留学生だった私もそのようなイメージを抱きながら日本にやってきた。しかし、私自身や周囲の留学生仲間間の経験、そして最近教室や学生相談室で接する留学生を通じて、このような留学イメージに

## 留学について感じること

易しいものではないことは、少し冷静に考えれば誰でも理解、想像できるものである。しかし、人びとは適応できない者をあかも脱落者、失敗者であるように感じ、また他者をそういう眼差しで見ている。留学生本人もそういう自責の念に苛まされることも多かるう。

授業料と毎月の家賃や生活費等をアルバイトで賄わなければならない。経済的な苦しさ以外に、言葉の問題や文化的な違いから生じる意思疎通の困難、勉強上の多くの障害をクリアしなければならぬ。さらにアルバイトに追われる留学生は友人に恵まれない者も多い。

多少の疑問を感じている。留学は果たしてポジティブなものばかりであるのか。夏目漱石はイギリスに留学したとき、イギリスでの生活や研究になじめず神経衰弱に陥り、急遽帰国せざるを得なかったことをご存知の方は多いだろう。新しい環境への適応が生

立大学だと年間100万円前後の生計の9割がアジア地域から来た者であり、そしてそのアジア地域から来た留学生の8割は私費留学生である。日本政府や民間団体から奨学金をもらっている一部の幸運な者を除けば、多くの留学生は私

新しい環境に一日も早く慣れよう、母国の家族・親族や友人たちの期待に応えよう、もっともっと頑張らなと、自分を奮い立たせ、日々の生活のなかで多くの無理を重ねている者も少なくない。確かに留学生の中で成功している者は多い。しかし、私たちの知らない所で精神的な障害を引き起こし、日本での勉強や生活を続けられなくなり、帰国してしまっただけという人数に達する。だからどうこうというものでもないが、留学の華々しい側面の裏に、多くの困難や挫折があり、そして苦しんでいる者がいることも、頭のどこかにおいていただければと願う。

「白雲なびく駿河台」校歌とともに試合も開始だ。校歌を歌う時の姿勢は、右手を拳にして肘の曲げ伸ばしの繰り返しの曲線を描きながら、実は腕は次第に痛みを伴ってくる。あんなに笑顔でキープレッティングするチアガールも実は大変なのだ。と思う。10月1日は対早稲田戦であった。10月にもかわらず気温は初夏のようでも半袖を着て来ればよかった。と朝から後悔する。しかし、絶好の野球観戦日和で、さらに相手が早稲田となれば応援する側にも力が入る。私たちは今回で野球応援は2回目となる。試合の主役である選手はもちろん、応援団、吹奏学部、チア、そして応援に来た学生にも気合いが入る。特に、応援団の観客席の学生を盛り上げて、学

## 雑誌「明治」(新入生特集号)原稿募集!!

—新入生へ贈るあなたからのメッセージをお寄せください—

2006年度新入生に配布する雑誌『明治』(2006年4月発行)の原稿を在学生のみなさんから募集します。

☆テーマ(例) = 原則として自由、ただし執筆前に連絡

- 大学での勉強法
- キャンパスでの生活
- サークル体験談(体育会・文化部・同好会)
- 資格取得体験談
- 就職体験談
- 留学体験談
- 海外英語研修体験談
- 読書のすすめ
- 学食活用術 など

※各テーマを通して新入生へのアドバイスや激励などを執筆してください。

※誌面に限りがあります。執筆いただいても掲載できない場合がありますので、予めご了承ください。

☆字 数 = 1000字~1200字

☆締 切 = 原稿の提出は2006年1月20日(金)まで。【厳守】

※執筆を希望される方は、2005年12月22日(木)までに広報部にご連絡ください。執筆要項をお送りします。

※原稿執筆者全員にオリジナル図書カード(1,000円)1枚、掲載時には別途記念品を差し上げます。

### ◎応募・問い合わせ先

明治大学広報部

〒101-8301

東京都千代田区神田駿河台1-1

(駿河台校舎大学会館6階)

電話 = 03-3296-4084

F A X = 03-3296-4087

メール = koho@mics.meiji.ac.jp



## 東京六大学野球観戦記

商学部3年

新屋 良子  
平井 雅子



▶ やっぱり明治がナンバーワン

生に対する呼び掛けをする姿に改めて感心させられる。さて、野球といえば攻めと守備の二つの場面がある。攻めの際は、様々な応援歌やコールが登場する。その中でも私のお気に入り、紫紺の歌やアトミックマーチである。歌詞などは覚えていなくても、誰でも十分に楽しむことができる。これも歌詞カードを掲げてくれる応援団のお陰でもあると思う。一方、守備の時の応援には面白いアイテムが盛りだくさんなのだ。親指を立てたり、手をOKの形にして、ストライク・三振等々を呼び掛けるのである。早稲田には毎打席ヒットを打った選手がいて、守備の時は本当にヒヤヒヤした。守り切ったときは一安心! 残念ながら試合は負けしてしまったけれど、みんなで応援を楽しめることができてとてもよい一日だった! 日頃あんまり意識しないけど、明大生でよかった!! と思った。来年は大学生活最後(?)の年なので、また去年のように神田の町を優勝パレードしたいなあ。そして神宮で「やっぱり明治がナンバーワン!!」って叫ぶぞ!!

そしてまだ野球観戦に行ったことのない学生もぜひ一度、神宮に足を運んでみるといいと思う。改めて、明治の良さに気づくこと間違いなし!







**西谷尚徳 (にしたに・ひさのり)**  
 04年の東京六大学野球春季リーグ戦で主将として12季ぶりの優勝に貢献。大学通算3割3厘、3本塁打、27打点、ベストナイン3回。04年ドラフト4位で東北楽天ゴールデンイーグルスに入団。内野手。178cm・77kg。右投左打。05年文学部卒。

プロ野球  
**秋季キャンプ**



プロにとってファンサービスは重要な役割 (ファン感謝デー)

10月25日〜11月17日まで宮崎県日向市で秋季キャンプを行なってきました。朝7時に起きてから夜11時に眠るまで、ほとんどの時間を練習に明け暮るキャンプの1日のスケジュールを簡単に紹介します。

7時…起床、7時30分…朝食(ビュッフェ)、9時…バスで球場へ移動、10時…アップ開始↓キャッチボール、11時…投手・野手連携練習↓ノック、12時…昼食(おにぎり、ラーメンやカレー、汁物、果物など)、12時30分…打撃↓守備↓バント↓ティー打撃↓ロングティーまたはマシン打撃、15時…自主練習(特打など)、16時…宿舍までランニング、18時…夕食(ビュッフェ)、19時30分…夜間練習(ホテル駐車場で素振りなど) 23時…就寝。

練習をしてきたつもりですが、経験したことのないハードな練習で、たまの休日も外出する気力がなく、部屋で寝ていました。キャンプは相当疲れましたが、充実した毎日です。成果が身についたと実感しています。12月から来年2月のキャンプインまではオフシーズンですが、休んでいる時間はありません。埼玉の母校で自主トレを行い、ひたすら練習漬けの毎日を送る予定です。

先日、初めての契約更改を行なってきました。自分自身の野球に対しての取り組み、野球以外のファンサービスや地域密着活動に対しても、しっかり評価してもらったことができました。非常に話しやすい環境を作ってもらい、選手のことを考えてくれている球団だと感じました。

来季からは野村克也監督に代わります。色々な意味で今年以上に厳しく、学ぶことも多くなると思います。乗り遅れないようにしっかりと経験を積んでいきたいと思っています。

**R**ookie's **R**eport ルーキー・レポート⑥

映像を編集加工するブース



報道  
**二重の責任**



**岩波孝祥 (いわなみ・たかよし)**  
 高校生時に「飢餓人口8億以上」という新聞記事を読み、国際協力に携わる仕事を志す。大学入学後、「世の中の関心を貧困問題に向かわせたい」とマスコミへの就職を決意、TBSテレビに報道職として入社。マスコミ研究室29期生。05年農学部卒。

ち  
 かごろ休める日がほとんどありません。一級建築士がマンションなどの耐震データを偽造して、倒壊の恐れのある建物がいくつも存在することが明らかになるといって、とんでもない事件が起きたためです。

偽造をした建築士や施工会社に責任を追及するのは報道の仕事として当然ですから、取材は強気でいきます。でも問題は、欠陥のある分譲マンションを購入してしまった住民などへの取材。毎日倒壊の恐れにおびえながら生活している人たちに、私たちは容赦なくカメラを向け、「これからどうするつもりですか」なんて残酷な質問をぶついたり、「マンション販売会社からの資料を貸してほしい」と言ってインターホンを手当たりしだい鳴らしたりもします。これをためらっているのは放送できる商品が成り立たないわけですから、失敗すると上司から叱られるわけで、やらないわけにもいきません。当然、不快な思いを

させて、怒られたことが何度もあります。しかしながら、自分の名刺に「力になりた」と一言添えてポストに投函すると、向こうから連絡をくれる人がいたりするの事実。電話口でその人は、「私たちの気持ちをすくい上げて、世論を動かしてほしい。取材にはできるだけ協力します」と言ってくれました。あとで聞いてみると、住民の代表として仕方なく本来の仕事を休み、不眠不休でこの問題に対応しているとのこと。絶望的な状況下で、メディアの影響力を信じ、頼りにして取材に協力してくれる人がいるわけです。

現場に出るようになって半年あまり。いまだ理想と現実の差を感じています。しかし今回の事件で、多くの人に正確な情報を伝える責任とともに、取材相手からの信用を築く責任があるということをつくづく感じました。どんなに時間を追われていても、自分を信用してくれる人を裏切らないようにすることだけは心がけていきたいと思っています。



# 明大ニュース

## 明大が参加する 民学産公による大学が開校

### 三鷹ネットワーク大学

明大が参加する民学産公の協働による「新しい形の地域の大学」を目指す「三鷹ネットワーク大学」が10月1日に開校した。

三鷹ネットワーク大学は三鷹市と明大をはじめ14の大学や研究機関等が提携。参加大学による公開講座や民学産公協働研究事業、まちづくり総合研究所事業、eラーニング支援事業などを展開し、受講は三鷹市民以外からも広く受け付ける。

明大では、10月7日から「三鷹サテライトキャンパス」として、リバティ・アカデミーの講座「太宰治考〜待つ身がつかいか、待たせる身がつかいか〜」(講師||吉田悦志政治経済学部教授ほか)を開講。また、同大学参加14教育・研究機関の学長らが週がわりで教壇に立つ同大学開設記念特別講座も開講され、納谷廣美学長が2006年1月21日に講座を担当する。問い合わせ等詳細は三鷹ネットワーク大学推進機構(☎0422-4010313)まで。

## 明大から28人が合格

### 司法試験第二次試験

法務省の司法試験委員会は11月9日、2005年度の司法試験第

二次試験最終合格者を発表し、明大関係の合格者は前年度から18人減の28人だった(大学別合格者数上位校は別掲)。

全体の合格者数は過去最高だった前年度より19人少ない1464人(男性1114人、女性350人)で、受験者数39428人に対する合格率は3.71%(前年度3.42%)だった。合格者の平均年齢は29.03歳(同28.95歳)でこれまでで最も高かった。大学生(在学生・卒業見込者)は211人で全体の14.4%。

## 明大から162人が合格

### 国家公務員採用Ⅱ種試験

人事院はさきごろ、おもに各府省の中級係員として事務、技術等の業務に従事する国家公務員採用Ⅱ種試験の2005年度合格者を発表した。申込者数61621人(前年度69771人)に対し、合格者数は5300人(同6374人)で、明大からは、162人(同212人)が合格した。

全体の合格者数は、採用予定人員の減少に伴い、前年度に比べ1074人(16.8%)減少。これにより、倍率も前年度に比べ0.7ポイント上昇し、11.6倍(前年度10.9倍)となった。女性の

## 2005司法試験大学別合格者数 (カッコ内は前年)

大学名	合格者
① 早稲田	228 (226)
② 東京大	225 (226)
③ 慶應義塾大	132 (170)
④ 中央大	122 (121)
⑤ 京大	116 (147)
⑥ 大阪大	57 (45)
⑦ 一橋大	51 (57)
⑧ 同志社大	48 (30)
⑨ 名古屋大	32 (26)
⑩ 神戸大	30 (33)
⑪ 北海道大	30 (16)
⑫ 北北館	29 (29)
⑬ 明治大	28 (46)
⑭ 立命館	26 (23)
⑮ 上智大	24 (25)
⑯ 九州大	23 (21)
⑰ 西政大	23 (19)
⑱ 法立大	22 (12)
⑲ 日大法	19 (21)
⑳ 立日大	14 (12)

## 馬術部が前人未踏の12連覇

### 全日本学生馬術競技3大会

10月31日から11月6日にかけて、JRA馬事公苑で行われた2005年度全日本学生馬術競技3大会で、明大馬術部が障害・馬場・総合の3種目全てで団体優勝。3種目の団体成績を競う3種目総合では、1994年から続いている連勝記録を「12」に伸ばした。

「4年生の最後に団体完全制覇という最高の結果が出せたことは本当に嬉しい」。キャプテンとして有終の美を飾った戸本一真(商)



▶人馬一体となった佐藤の飛越  
〔写真提供・明大スポーツ〕

## 早大に6連敗

### ラグビー・対抗戦

関東大学ラグビー伝統の明早戦が12月4日、雨の国立競技場で行われ、明大はすでに優勝を決めている早大に3-40と完敗。早大戦ワースト2位の6連敗を喫した。明大は終始自陣に攻め込まれ、前半20分に先制トライを許すと、その後も5トライを追加され40失点。終盤は早大陣に攻め込んだが、あと一步でトライが奪えず、前半のSO齋藤玄樹(法4)によるP



▶セットプレーでも早大が圧倒

アメフト・クラッシュボウル  
アメフト東西大学王座決定戦・甲子園ボウル(12月18日)の関東代表を決めるクラッシュボウル準決勝が11月23日、駒沢陸上競技場で行われ、20年ぶりの甲子園ボウル出場を目指した明大は慶大に13-30で敗れた。

今季の関東大学1部リーグ戦Aブロックを制した明大は、前半からエースRB・山崎公士主将のランプレーを抑えられ、思うように得点できず、第4クォーターになって1TDを返したものの、追いつくことができなかった。

## “君のひらめきを広報紙の「顔」に” 新広報紙 表紙タイトル募集!!

2006年4月より明大生対象の広報紙「明治大学学園だより」と「M-NAVI」が合併し、新しい広報紙として生まれ変わります。その新しい広報紙の表紙タイトルを募集します。たくさんのご応募お待ちしております。

- 応募資格 明大生
- 応募方法 Eメール

Eメールに必要事項(①学部②学年③学生番号④氏名⑤電話番号⑥新広報紙のタイトル・コンセプト)を記載し、明治大学広報部「広報紙タイトル募集」係(koho@mics.meiji.ac.jp)までお送りください。※メールの件名は、必ず「**広報紙タイトル募集**」と明記して下さい。※応募は1人1点まで。複数応募した場合や必要事項①~⑥の全てに記載がない場合、審査の対象になりません。※必要事項①~⑥の個人情報、標記の目的以外には使用しません。

- 応募期限 2006年1月20日(金)
- 審査 明治大学広報委員会
- 発表 新広報紙4月号および明大ホームページで採用者1名を発表します。※採用作品の知的所有権、使用権等は明治大学に帰属します。
- 賞品 採用者1名に図書カード10,000円分を差上げます。

(問い合わせ先)  
明治大学広報部「新広報紙タイトル募集」係  
電話：03-3296-4083  
E-mail：koho@mics.meiji.ac.jp

# ～また来たくなる～

# アットホームなMeijiの 厚生施設

学生事務部

**高原のくつろぎ 清里セミナーハウス**  
山梨県北杜市高根町／収容人数(100名)



豊かな自然環境に恵まれた清里の森に隣接する、本学最大規模の厚生施設。勉強に疲れたあとで雪景色を眺めながら入るお風呂は最高！

**湖畔のくつろぎ 山中セミナーハウス**  
山梨県南都留郡山中湖村／収容人数(100名)



山中湖のほとりの唐松林に囲まれた、閑静な立地のセミナーハウスです。観光名所や美術館も合宿のオプションに盛り込んじゃおう。

**雪國と温泉のくつろぎ 桧原湖セミナーハウス**  
福島県耶麻郡北塩原村／収容人数(64名)



体育館、研修室も完備。氷の張った桧原湖では、なんと名物ワカサギ釣りが楽しめる！寒くなったら自慢の天然温泉につかっの～んびり、リラクセス。スキー場もすぐ近く。

**富士山のくつろぎ 富士吉田寮**  
山梨県富士吉田市／収容人数(36名)



グラウンドで雪上サッカーもよし、足を延ばして富士急ハイランドのスケートリンクで滑りまくるもよし。寮までの道のりは、真っ白で美しい日本一の富士山を眺めながらどうぞ。

**スポーツ三昧とくつろぎ 誉田寮**  
千葉県千葉市／収容人数(54名)



サッカー場1面、野球場1面、バレーコート1面と、スポーツ施設が充実しています。思いっきり動いて寒さを吹き飛ばそう！※テニスコート6面は3月中旬まで霜のため利用できないことがあります。

**海のくつろぎ 富岡町合宿センター(契約施設)**  
福島県双葉郡富岡町



東京ドームと同じ素材の屋根を持つ屋内テニスコートなど、本格的なスポーツ施設がそろっています。太平洋沿いに立地しており、冬でもバッチリ本格的なスポーツ合宿！

<http://www.meiji.ac.jp/campus> ホームページでも情報ゲット！ <http://www.meiji.ac.jp/campus> ホームページでも情報ゲット！ <http://www.meiji.ac.jp/campus>

## 申込について

### <抽選申込>

1. 抽選対象利用期間  
**2月1日(水)～4月1日(土) 宿泊分**  
※上記期間の利用は抽選となります。  
※上記期間内でも施設によって利用できない日があります。掲示板等で確認してから申し込んでください。
2. 抽選受付：各地区学生課窓口にて  
**1月11日(水)・12日(木)の2日間**  
※申込書は各地区学生課窓口で配付します。
3. 抽選結果発表：各地区学生課窓口にて  
**1月19日(木) 12:30～**  
※落選団体は1月19日(木)12:30以降、空室がある場合に先着順で申込を受け付けます。
4. 本申込：当選した団体の代表者は、学生証を持参し、  
**1月20日(金)**までに本申込をしてください。
5. 抽選に参加しなかった団体の申込：各地区学生課窓口にて  
**1月20日(金) 12:30～**

### <申込上の注意>

- ※ 電話やメールでの申込・問合せには応じません。
- ※ 抽選後、空室がある場合は利用する10日前まで受付けます。
- ※ 申込みは1団体につき1件とします。  
重複・虚偽の申込みをした場合は全て無効とします。

### <利用料金表(本学学生)>

(1) 本学施設(1泊2食付 税込)

施設名	宿泊料金＝食事料金＋利用料金
清里セミナーハウス	2,905円＝2,205円＋700円
山中セミナーハウス	2,605円＝2,205円＋400円
桧原湖セミナーハウス	2,555円＝2,205円＋200円＋入湯税150円
富士吉田寮・誉田寮	2,100円＝2,100円＋ 0円

(2) 契約施設

富岡町合宿センター 2,200円(1泊2食付 税込)